

# 標準カムクラッチ PBシリーズ 取扱説明書

PB3, PB5, PB6, PB8, PB10, PB12, PB14

この度は、カムクラッチをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

## 安全にご使用いただくために

### ⚠ 警告

#### 危険防止のため、下記の事項に従ってください。

- 本体あるいは装置側回転軸に回転力が作用していないことを確認のうえ、保守点検を行ってください。逆転防止用にクラッチをご使用のときは、特にご注意ください。
- 起動、停止の繰り返しを目的とする使用方法では、架台に大きな力が作用します。架台の強度は十分におとりください。
- 取付け精度、負荷の状況、使用部品の摩耗、寿命等により機能、性能が低下することがあります。定期的に保守点検を行うとともに、あらかじめ装置側にも安全対策を講じてください。
- 労働安全衛生規則第2編第1章第1節一般基準を遵守してください。
- 製品の取付け、取外し、保守、点検等の際には、取扱説明書に従って作業してください。

### ⚠ 注意

#### 事故防止のため、下記の事項を守ってください。

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
- 取付けに際しては、事前に必ず回転方向の確認をおこなってください。
- 製品の取付けに使用するボルトは、指定の強度・サイズのものを使用し、所定の締め付けトルクで締め付けてください。
- 取扱説明書は、必ず最終ご使用になるお客さまのお手元まで届くようにしてください。

## ■ 取 付 け

1. 内外輪の芯出しは外輪と軸の間のメタルで行ってください。外輪にかかるラジアル荷重は、このメタルで受けますので、軸の長さはメタルが当る長さ（外輪端部以上）にしてください。
2. 軸径公差は下表の寸法を推奨します。適正寸法の軸を挿入してください。
3. スリーブに取付けるスプロケットなどの穴の寸法公差は、H6又はH7を推奨します。
4. 下図矢印方向から見た内輪のかみ合い回転方向が外輪に示してあります。右回転でかみ合う時は（RH）、左回転でかみ合う時は（LH）です。取付け前に必ずカムクラッチの回転方向が装置の回転方向と一致していることを確認してください。
5. キーは、JIS B1301—1959（旧 JIS）平行キー2種を使用し、キーの天井とキー溝の間にはスキマを空けてください。打ち込みキーの使用は絶対にさけてください。
6. 外輪のキー溝寸法は JIS で規定している軸径とキー寸法の関係通りになっていませんので、ご注意ください。
7. 軸へはめ込む際は、内輪端面又は外輪キー溝側面に力を掛けてください。  
他の部分は絶対にたたかないでください。
8. 内輪、外輪をそれぞれ別に左右の軸に直接取付けてカップリングとして使用することはできません。  
たわみ継手と併用してください。

取付例

| サイズ（内輪軸穴径）      | 軸公差         |
|-----------------|-------------|
| PB3～PB8（φ30以下）  | 0<br>-0.013 |
| PB10～PB14（φ30超） | 0<br>-0.016 |

